

コード	30202
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	地域福祉推進体制の整備
--------	-------------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進

課コード	110	関係課名	こども課
主管課名	福祉長寿課		

基本事業の目的

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、地域福祉計画、障害福祉計画等の計画を策定し、又、社協・民協等の各種団体との連携を強化し、福祉の増進に資することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	社会福祉協議会及び民生委員協議会との連携事業数	成果指標名称 2	社会福祉協議会が行う各種事業利用者数
成果指標の積算根拠	委託事業数	成果指標の積算根拠	利用実績者数÷利用計画者数
目標達成年度	平成21年度	目標達成年度	単年度
目標達成数値	7	目標達成数値	76,000人

年 度			H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	単位	千円	6.0	6.0	6.0	7.0	7.0
	実績 B		千円	6.0	6.0	7.0	7.0	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	116.7	100.0	
成果指標2	目標 A	単位	人	70,000.0	72,000.0	74,000.0	76,000.0	78,000.0
	実績 B		人	67,310.0	72,765.0	84,784.0	90,519.0	
	達成率 B/A		%	96.2	101.1	114.6	119.1	

1次評価	現状	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、地方公共団体として町民全体の福祉の増進に資することを目的に各種事業を社会福祉協議会及び民生委員協議会と連携して地域福祉の推進を図っている。
	課題	町の財政状況等を考慮しつつ、社会福祉協議会においても、運営方法の見直しや効率化を図り、収益事業の推進や事業費の節減に努めながら地域福祉推進を目指す必要がある。
	改善	福祉関係団体との連携なしでは地域福祉に増進はなしがたく、社会福祉協議会や民生委員協議会においても、収益をあわせた事業等に取り組むみながら運営方針の見直しや効率化を図り、福祉サービスを充実を目指す。
2次評価	予算的な制約もあるが、福祉施策を推進するうえでは、関係する団体との連携が不可欠であり、今後も地域に密着した福祉施策の展開を図ること。また、各種団体においては、効率的で効果的な運営が行えるよう指導、助言を行っていくこと。	
住民等の意見		
町の対応		

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。